



セン入

2003年春闘

雇用・暮らし・いのち・平和

春闘で職場と暮らしの元気回復！！

安心して働きつづけられる職場を！

―はね返せ、リストラ・賃下げ―

国民への負担増四兆円

倒産・失業を生み出す破壊への道

全国の失業者三百五十七万人、完全失業率、過去最悪の5.5%。四兆円以上の負担を強いる医療・年金改悪など小泉構造「改悪」内閣の行きつく先は「倒産失業地獄」を生み出す破壊への道です。

リストラ効果で「V字回復」

センイ・アパレル産業でも、大企業は、不採算部門からの撤退、工場閉鎖・分社化（東洋紡・大和紡・ユニチ



「もうガマンも泣き寝入りもできない」

財界は「春闘解体、賃上げは論外、定期昇給も凍結・見直し」とあからさまの賃下げ春闘を叫んでいます。

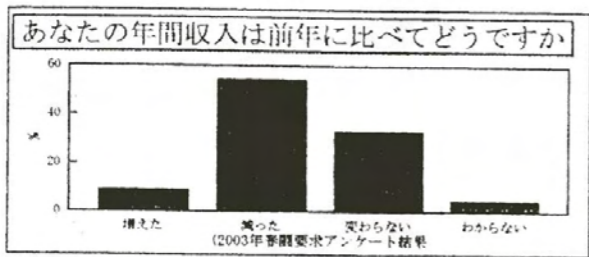
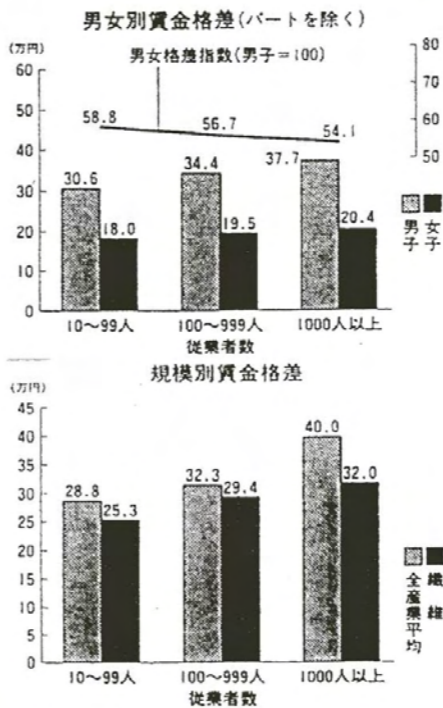
「センイ労働者・労働組合連絡会」が実施した春闘要求アンケートでは、「生活が苦しい」という人が五十四%を占め、賃上げも二八〇〇〇円（平均）を要求しています。旧ゼンセン同盟が昨年おこなった意識調査で、賃金・一時金の引き下げに不安を感じているという人は八割

を越えています。

UIゼンセン同盟の落合書記長も「生活水準の切り下げにハドメをかけることこそ、われわれ労働組合の使命です。：職場からの要求を掘り起こしていくという使命があります」とこの春闘のなかで語っています。

要求を大きな声で

この春闘では「これ以上の生活、雇用、健康破壊は許さない」ためにみんなで力をあわせてたたかっています。こうではありませんか！



リストラ・退職強要などでお困りの時は相談に応じます。

センイ労働者・労働組合連絡会

連絡先 大阪市北区錦町2-2 国労会館3F大阪民主センター内 ☎06-6354-7237

セン入

労基法違反のサービス残業をなくし

職場に自由と民主主義の確立を！



サービス残業（ただ働き）を一掃しよう！

厚生労働省は一昨年四月にサービス残業解消に向けた「通達」をだしました。日本の長時間労働について、国連の経済社会委員会は「公共・民間ともに過剰な労働時間を許していることに深い懸念を表明し、労働時間を短縮するように」と勧告が出されました。（昨年八月）

企業が割増賃金を払わずに時間外労働をさせるサービス残業は、明確な労基法違反の企業の犯罪です。通達後、全国の告発運動などで、昨年九月までの一年六ヶ月で、六一三企業（約七万人）で是正を指導、八十一億円余が支払われました。



会社には労働時間管理

（始業・終業）の責任がある

しかしセンイの多くの職場では、リストラ・人べらし・コスト削減方針などで長時間・過密労働が続き、その多くがサービス残業となつていきます。

③センセン同盟の残業撲滅の方針や、厚生労働省の「通達」にもとづく労働時間管理の遵守など、みんなで働く環境をチェックし、長時間・過密労働、サービス残業を職場から一掃しましょう。

通達の内容

2001年4月の通達では、「使用者に労働者の日々の始業・終業時間を確認し記録する責務がある」「使用者が労働者の日々の始業・終業時刻を確認し記録すること」、その方法は「使用者の確認による記録、またはタイムカードやICカードなど客観的な記録」を原則とし、使用者による記録の場合は「労働者からも併せて確認することが望ましい」としています。

残業時間の自己申告制について使用者がやるべき措置は

① 労働者に対して適正な自己申告を行なっても不利益な取り扱いが行なわれないことがないことを説明する。

② 労働時間が適正に把握されているか否かについて、労働者や労働組合などから指摘された場合は、実態調査を行なう必要がある。

③ 労働時間の上限を設定したり、残業時間の削減の社内通達や残業代の定額払いの改善をやる。

クラブウの人権侵害・賃金差別裁判

差別に対する闘いは、全人類の自由と権利を守る闘いです

「沈まぬ太陽」主人公のモデル故・小倉寛太郎さんのメッセージ

クラブウの伊藤建夫さん、宮崎周吉さんは二〇〇〇年四月に「人権侵害・賃金差別」

の是正を求めて大阪地裁に提訴、公判は二十一回に及び九月に結審となりました。

伊藤・宮崎さんは、職場の要求実現（賃上げ・労働条件の改善）や政党支持の自由など労働者の権利を守るために活動してきたこと、これを嫌った会社は、仕事の取り上げ、労働者からの隔離、炎天下での草むしりなど四半世紀にわたって昇格させないというひどい差別と人権侵害をおこなってきたことが公判を通して明らかにになりました。

一審では異例の裁判長からの「和解勧告」を受け六回の「和解期日」での話し合いを行ないましたが会社側の誠意の見られない態度で決裂し、四月十六日「判決」

が出されます。

二人は「個人のたたかいでなく、職場の自由と民主主義をまもるたたかいとして勝利させたい」と日夜奮闘しています。みなさんのご支援をお願いいたします。

